

# 再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

事業名	一般国道403号 三条北バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	新潟県
起終点	<small>にいがたけんみなみかんばらぐんたがみまちはにゆうだ</small> 自：新潟県南蒲原郡田上町羽生田 <small>にいがたけんさんじょうしつかのめ</small> 至：新潟県三条市塚野目			延長	8.3km
事業概要	一般国道403号は、 <small>にいがたけんにいがたし</small> 新潟県新潟市から <small>ながのけんまつもとし</small> 長野県松本市へ通じる幹線道路である。 当該バイパスを整備することにより交通渋滞を解消し、安全で円滑な交通を確保することにより広域ネットワークの形成、都市機能向上及び日常生活圏の連携強化を図る。				
S59年度事業化	S60年度都市計画決定	S60年度用地着手	S63年度工事着手		
全体事業費	約190億円	事業進捗率	65%	供用済延長	2.8km
計画交通量	12,200~14,600台/日				
費用便益分析結果	B/C (事業全体) 1.2 (残事業) 3.1	総費用 (残事業)/(事業全体) 50/225億円 (事業費) 51/226億円 維持管理費:-0.82/-0.82億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 159/267億円 (走行時間短縮便益) 157/267億円 (走行費用減少便益) 4.9/7.9億円 (交通事故減少便益) -3.5/-7.5億円	基準年 平成20年	
感度分析の結果	残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C= 3.8 (交通量+10%) B/C= 2.6 (交通量-10%) 事業費変動：B/C= 3.5 (事業費+10%) B/C= 2.9 (事業費-10%)				
事業の効果等	・国土・地域ネットワークの構築(日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる) ・災害への備え(対象区間が緊急輸送道路ネットワーク計画に位置づけ有り) <span style="float:right">他10項目に該当</span>				
関係する地方公共団体等の意見	・三条市は、加茂市、田上町と「一般国道403号整備促進期成同盟会」を結成し、国・県に対して積極的に要望活動を行っている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	・特になし。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	・現在までに2.8kmの区間を暫定2車線で供用している。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	・当該事業区域は全区域が軟弱地盤地帯であり、地盤改良工・圧密沈下に相当の時間を要し、また遺跡の包蔵密度が極めて高く埋蔵文化財発掘調査に多大な時間と費用を要している。現在供用済み区間の先線における圧密沈下が概ね終了していることから今後早期供用に向け事業促進を図る。				
施設の構造や工法の変更等	・建設発生土の有効利用等コスト縮減に努めている。				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	事業の必要性や重要性は高く、事業進捗も見込まれることから、継続が必要である。				
事業概要図					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。